

第3 過去における災害に関する資料

資料3-1 秋田県に被害をおよぼした主な地震

番号	発生年月日	震央		地震の規模 マグニチュード	被害
		経度	緯度		
1	830年2月3日	140.1	39.8	7.0~7.5	天長地震 秋田城内家屋倒れる、圧死15、肢体折損100余名、地割れ多し
2	850年	139.7	39.0	7.0	出羽の国府の城柵傾類し、圧死者多数
3	857年4月4日	140.6	40.3	7.0	大館地方の松峰山伝寿院の堂舎倒壊
4	1423年11月23日	140.1	39.2	6.7	羽後国、人畜死傷し、建物倒壊
5	1644年10月18日	140.0	39.4	6.5	久保田大地震 本荘城郭大破、死者あり、石沢村に被害、院内で地裂け、水湧く
6	1678年10月2日	142.5	39.0	7.5	久保田地震
7	1694年6月19日	140.1	40.2	7.0	富根、駒形、桧山等能代以南地方を中心として死者394、倒潰・焼失家屋2,132、能代のみにて死者300あり
8	1704年5月27日	140.0	40.4	7.0	能代を中心として以北の地方に大地震、能代のみにて死者58、焼失家屋759、潰家435
9	1766年3月8日	140.5	40.7	7.25	弘前・青森方面大被害、秋田県の被害不明
10	1772年6月3日	141.9	39.35	6.75	沢内で山崩れ
11	1793年2月8日	139.95	40.85	6.9~7.1	鱒ヶ沢・深浦で被害大
12	1804年7月10日	139.95	39.05	7.0	象潟地震 象潟湖隆 起由利郡内のみにて死者183、潰家2,000、象潟のみにて潰家423、死者65
13	1810年9月25日	139.9	39.9	6.5	男鹿大地震 南秋田郡で死者59、潰家1,078、山本郡で潰家51
14	1833年12月7日	139.25	38.9	7.5	佐渡・羽前地震で象潟～鼠ヶ関の海岸に被害 全体で死124、全半潰約1,050、秋田県の被害少ない
15	1856年8月23日	142.5	41.0	7.5	八戸・青森で被害大
16	1894年10月22日	139.9	38.9	7.0	庄内地震 庄内平野を中心に被害 秋田県では本荘以南に被害
17	1896年8月31日	140.7	39.5	7.2	陸羽地震 県内にて死者205、負傷者736、潰住家4,738、仙北郡のみにて死者184、負傷者603、全潰住家3,295

番号	発生年月日	震央		地震の規模 マグニチュード	被害
		経度	緯度		
18	1901年 8 月 9 日	142.5	40.5	7.2	小坂・毛馬内・花輪などに被害、小坂鉦山の煉瓦煙突折れる
19	1906年10月12日	140.5	40.0	5.6	阿仁合村で小被害
20	1914年 3 月 15 日	140.4	39.5	7.1	強首地震 強首村を中心に、死者94名、負傷者324名、住家の全壊640戸
21	1914年 3 月 28 日	140.4	39.2	6.1	強首地震の余震 金沢西根村、藤木村で小被害
22	1939年 5 月 1 日	139.8	39.9	6.8	男鹿地震 男鹿半島を中心に、死者28名、負傷者127名、住家の全壊565棟、半壊1,089棟、焼失9棟
23	1955年10月19日	140.2	40.3	5.9	二ツ井地震 二ツ井町、響村を中心に負傷者4名、住家の半壊3棟、非住家の全壊1棟、半壊310棟などの被害
24	1957年 3 月 1 日	140.32	40.21	4.3	二ツ井付近で軽微な被害
25	1964年 5 月 7 日	138.7	40.4	6.9	男鹿市、琴浜村、八竜村、能代市などで、住家の全壊3棟、半壊2棟、一部被損49棟、床上浸水1棟、床下浸水26棟
26	1964年 6 月 16 日	139.2	38.4	7.5	新潟地震 秋田市、男鹿市、本荘市などの沿岸部で死者5名、負傷者30名、住家の全壊13棟、半壊147棟、一部破損4,196棟
27	1964年12月11日	139.0	40.43	6.3	男鹿半島沖を震源、八郎潟干拓地の堤防20cm沈下、秋田市、能代市を中心に停電、電話不通などの被害
28	1968年 5 月 16 日	143.6	40.7	7.9	十勝沖地震 秋田県内は、負傷者2名、住家の半壊1棟、一部破損3棟などの被害
29	1970年10月16日	140.8	39.2	6.2	東成瀬村や山内村を中心に、負傷者4名、住家の全壊19棟、半壊48棟、一部破壊216棟、沈下3棟などの被害
30	1978年 2 月 20 日	142.2	38.75	6.7	宮城県を中心に小被害
31	1978年 6 月 12 日	142.2	38.2	7.4	宮城県沖地震 秋田県内では、水道施設2箇所、農地農業用施設19箇所、土木関係3箇所などの被害
32	1983年 5 月 26 日	139.1	40.4	7.7	日本海中部地震 死者83名、負傷者265名、住家全壊1,132棟、半壊2,632棟、一部損壊2,875棟などの被害

番号	発生年月日	震央		地震の規模 マグニチュード	被害
		経度	緯度		
33	1994年12月28日	143.7	40.4	7.6	三陸はるか沖地震 鹿角市で1名軽傷、大館市で非住家2棟などの被害
34	1996年8月11日	140.63	38.91	6.1	雄勝町で住家の一部破損9棟、農地及び農業用施設3箇所、国道の法面崩落・路肩陥没29箇所などの被害
35	1999年2月26日	139.84	39.16	5.3	秋田県南部沿岸沖を震源 象潟町で住家の一部破損126棟などの被害
36	2003年5月26日	141.39	38.49	7.1	宮城県沖を震源 県内で4名重傷、4名軽傷、一部破損2棟などの被害
37	2008年6月14日	140.9	39.0	7.2	岩手・宮城内陸地震 秋田市では1名重傷、2名軽傷、非住家2棟、公共施設2棟などの被害
38	2011年3月11日	142.9	38	9.0	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災） 秋田市では全域が停電、1名重傷、4名軽傷、建物被害10件、地盤沈下5箇所、水道断水および漏水被害13箇所などの被害
39	2011年4月7日	142.0	38.2	7.4	宮城県沖を震源 地震直後に秋田市全域で停電などの被害

参考：秋田県地震対策基礎調査報告書（昭和56年度）、秋田県災害年表（平成2年度）

発生年月日、震央、マグニチュードは、理科年表、気象庁震度データベースによる

資料 3 - 2 秋田市災害年表

西 暦	年 号	種 別	記 事
1927	昭和2年	火 災	4月3日土崎港下酒田町西裏俗称八軒町から出火、東風にあおられ永覚町・古川町・上酒田町のほか第1波止場、第2波止場に燃え広がり、住家83戸79棟、非住家46棟を全焼。被害額は33万円。
〃	〃	火 災	6月24日土崎港町愛宕町から出火、新城町・川反町・上酒田町・下酒田町に燃え広がり、住家203戸194棟、非住家45棟を全焼し、被害額は49万円。出火当時秋田では、7.5mの風が吹いており、湿度50%、晴天が7日も続いていたので、火災の発生しやすい状態となっていた。
〃	〃	火 災	12月7日土崎肴町より出火、住家49戸、非住家9棟全焼。
1928	昭和3年	異常乾燥 火 災	7月18日から8月20日まで雨が全くなく、無降水継続日数が34日となり、観測開始以来の記録となった。18日秋田市常盤町飲食店喜楽から出火した火は、常盤町の遊郭のほか銃砲町・立花町の住家180戸164棟全焼、破損15戸、死者1名、傷者10名を出す大火となり、また18日から21日まで県内に6件の山林火災が発生した。
1930	昭和5年	異常乾燥	4月12日から18日まで雨がなく17日日中は湿度が42%まで下がり、10mの西風が吹き大火の発生しやすい状況であった。
〃	〃	火 災	18日、牛島町で大火が発生し、住家97戸、非住家10棟焼失。
1931	昭和6年	火 災	5月15日秋田市牛島橋通りから出火、追廻・下浜・川口・川尻に燃え移り、住家311戸、345世帯、非住家87棟、半焼住家4戸、非住家3棟、破壊住家2戸をだし、翌16日ようやく刑務所付近で消し止められた。秋田市は11日以降5日間雨がなく、湿度は14日29%、15日38%まで下がり、出火当時は61%で異常乾燥の状態であった。
1937	昭和12年	洪 水	8月30日浸水家屋3,000戸。
1939	昭和14年	(地 震)	5月1日14時58分、男鹿半島を中心とする強い地震が発生した。震源の深さは約10kmで土崎では27cmの小津波も観測された。また有感の余震は1日28回、2日11回もあった。(男鹿地震)
1945	昭和20年	火 災	(1回目) 4月16日秋田市保戸野本町で住家14棟を全焼。 (2回目) 常盤町で住家96棟、死者2名。
〃	〃	空 襲	8月14日土崎港日石株式会社秋田製油所、B29延130機により空襲され、同製油所および社宅104棟全焼、半焼社宅6棟、全壊12棟、半壊13棟、死者70名、傷者80名。

西 曆	年 号	種 別	記 事
1945	昭和20年	火 災	8月17日高清水国民学校全焼。
〃	〃	〃	12月5日県立秋田中学校全焼。
1946	昭和21年	火 災	2月24日秋田国民学校全焼。
〃	〃	〃	3月25日土崎第二国民学校焼失。
〃	〃	〃	12月25日中通小学校焼失。
1947	昭和22年	火 災	4月27日県立秋田女子医学専門学校焼失。
〃	〃	〃	11月12日秋田刑務所で工場、舎房11棟焼失。
1950	昭和25年	火 災	3月29日秋田市保戸野八丁より出火、82棟86世帯を全焼。 損害5,633万円。
〃	〃	〃	5月15日外旭川小学校焼失。
1954	昭和29年	台 風	9月26日早朝、台風15号は14時から15時にかけて秋田県の西方200kmの海上を通過。12時ごろ15m以上の風が吹き始め、15時から20m以上の暴風となり、16時57分最大瞬間風速30.7m（観測開始以来第2位の記録）、17時最大瞬間風速42.7m（観測開始以来第1位の記録）を記録した。その後も20m以上の暴風が21時まで続いた。函館港に仮泊していた洞爺丸を含む青函連絡船5隻が遭難し、多数の人命が失われた。秋田市では、被害死者1名、重傷3名、軽傷2名、住家全壊8棟、半壊11棟、非住家全壊31棟、半壊55棟。（洞爺丸台風）
1955	昭和30年	洪 水	6月25日から26日にかけて、総雨量300mmに達する豪雨があり旭川、太平川が増水した。家屋全壊1棟、床上浸水1,139棟、床下浸水1,355棟のほか、農作物、公共施設に大きな被害を受けた。（災害救助法適用）
1956	昭和31年	火 災	1月25日敬愛高校男子部校舎全焼。
〃	〃	〃	2月12日日新中学校から出火、同校舎3棟1,396㎡を全焼。
〃	〃	〃	4月28日川反二丁目焼失家屋8棟1,239万円。
〃	〃	〃	5月2日田中字田中焼失家屋11棟1,156万円。
〃	〃	洪 水	8月5日から8日にかけて長雨があり、総雨量は186mmとなった。死傷者4名、床上浸水183棟、床下浸水592棟のほか、田畑に被害を受けた。
〃	〃	火 災	9月10日近火より土崎中学校類焼。（強風下）
〃	〃	放 射 能 雨	9月17日夜降った雨の中から、16.500cpm/tの観測開始以来最大の放射能雨となった。（秋田市）
1957	昭和32年	連 続 放 火	5月25日13件の放火事件。長野下新町南丁倉庫、事務室等462㎡全焼。翌26日12件の放火事件あり、犯人逮捕、6月2日犯行自供。

西 曆	年 号	種 別	記 事
1957	昭和32年	干 天	6月上旬より降雨がなく、6月の月間雨量は39.2mm。 これにより上水道の給水を制限し、また、500世帯にトラック給水を実施した。
〃	〃	火 災	8月12日秋田県庁庁舎全焼。損害1億6,710万円
1958	昭和33年	暴 風 雪	1月22日秋田市で瞬間最大風速31.7mの暴風雪となり各所で停電した。
〃	〃	火 災	5月23日樽山愛宕下住家8棟、半焼2棟（火災警報発令中）
1959	昭和34年	大 雨	7月10日県下全域に豪雨があり、市内で堤防決壊、橋の流出が29カ所、家屋半壊1等、床上浸水116棟、床下浸水322棟の被害を受けたほか、農地にも多数の被害を受けた。
〃	〃	竜 卷	9月12日秋田市に発生、築山小学較屋根2箇所吹き飛ばされた。
〃	〃	台 風	9月27日の台風で秋田市は全市停電し、列車・貨車の運休は20本に上った。（伊勢湾台風）
1961	昭和36年	大 雪	2月3日夕方から4日早朝にかけ秋田市を中心とする海岸部に大雪が降り、交通機関が大混乱し、列車は24本680両が運休した。
1963	昭和38年	火 災 (爆 発)	12月14日川尻川口境、東部ガス秋田事業所のガス機械室のガス圧入器が爆発し、ガスに引火したため、同社のガス供給は、約3日全面的にストップした。
〃	〃	竜 卷	1月31日2時半ごろ秋田市に発生。2戸が屋根を吹き飛ばされたうえ、建物の一部が壊された。
〃	〃	火 災	3月20日浜田滝ノ下から出火、住家8等、非住家6等が全焼、8世帯42人が焼け出された。
1964	昭和39年	(地 震)	6月16日13時2分7秒、新潟沖を震源とする強い地震があった。県内各地の損害は、死者5名、負傷者30名のほか、住家の全壊13戸、半壊147戸、一部破損4,196戸、床上浸水8戸、床下浸水129戸、非住家1,862棟等生活基盤施設をはじめ、各部門にわたり11億7,549万円余の被害が出た。（新潟地震）
〃	〃	集 中 豪 雨	8月12日午後から、13日にかけて、県中央部と県北の一部に集中豪雨があり、秋田市で1時間雨量72.4mmを観測し、このため傷者2名、住家全壊13戸、半壊14戸、床上浸水456戸、床下浸水2,998戸、非住家19棟のほか、水道、農業、林業、土地改良、土木など合わせて11億8,436万円余りの被害がでた。 （災害救助法適用）
1965	昭和40年	雪 害	1月9日秋田市大町の貸しガレージが倒壊、14台の乗用車が被害があった。
〃	〃	山 林 火 災	5月2日秋田市上北手猿田字寺ノ沢で山林火災が発生。約30haを焼いて消し止めた。この火事で死者1名を出した。

西 曆	年 号	種 別	記 事
1965	昭和40年	火 災	6月11日秋田市外旭川沖神田から出火、住家17棟17世帯非住家12棟全焼した。
1966	昭和41年	火 災	1月11日山王中学校校舎1棟を残し7棟を焼失(6,528㎡)被害9,108万円。
〃	〃	梅 雨 前 線 大 雨	7月15日早朝から18日にかけて県中央部と県北の一部を襲った。豪雨は、16日正午現在、藤琴186mm、太平山181mm、秋田市中央部115mmを記録した。このため旭川、岩見川等県中央部の中小河川が氾濫し、特に秋田市手形からみでん、泉地区では床上浸水184戸、床下浸水371戸。
〃	〃	台 風	9月10日秋田市で最大瞬間風速27.5mを記録。そのため、7,000戸が停電した。
1967	昭和42年	火 災	3月18日秋田市立高校教員室附近から出火し、同校舎4,801㎡を全焼した。損害は5,868万円。
〃	〃	火 災	4月19日秋田市旭南三丁目日本山商事菓子工場全焼、損害額1,259万円
〃	〃	火 災	10月28日秋田市太平山谷から出火。空気が乾燥していたのと折からの12~13mの強風にあおられ部落中心部の住家8棟、非住家15棟が全焼。また、太平農協山谷支所が全焼、保管中の米5,000俵が焼失した。
1968	昭和43年	火 災	9月10日秋田東中学校で1棟8教室1,257㎡焼失。損害は、1,600万円
1969	昭和44年	水 害	7月28日より8月5日まで大雨が続き、床上浸水15棟、床下浸水408棟、田畑冠水241ha。
〃	〃	〃	8月23日から27日にかけて台風9号の影響による大雨が続き、床上浸水2棟、床下浸水329棟。
〃	〃	〃	9月6日、この年3回目の大雨となり、家屋半壊1棟、床上浸水9棟、床下浸水456棟。
1970	昭和45年	暴 風 雨	台風なみに発達した低気圧により1月30日から風を伴う雨が降り、2月1日午前9時までの降水量は44mm、最大瞬間風速は33.8mを記録した。家屋一部破損6棟、床上浸水6棟、床下浸水55棟。
〃	〃	火 災	3月5日秋田駅前市場協同組合全焼。傷者3名。損害1億4,926万円。
〃	〃	〃	3月10日秋田母子寮と同保育所が全焼。死者2名、29世帯被災。損害1,007万円。
1971	昭和46年	火 災	5月12日秋田市南中学校校舎北側から出火。校舎2棟、住家7棟10世帯を焼失。損害3,503万円。

西 曆	年 号	種 別	記 事
1971	昭和46年	火 災	8月29日秋田市旭南三丁目から出火、アパート1棟を含む住家など15棟を全半焼し、19世帯被災。損害1,728万円。
1972	昭和47年	火 災	9月11日中通二丁目小野時計店から出火。焼損面積766㎡、損害9,344万円。
1973	昭和48年	火 災	4月13日千秋久保田町パチンコ店等火災。全焼2棟。損害6,075万円。
1974	昭和49年	豪 雪	1月30日秋田市茨島六丁目の住家から出火、住家1棟を半焼し、この火災で母子3名が一酸化炭素中毒により死亡。今年の降雪は、断続的に短期間集中的に降った里雪型の豪雪であったため、除・排雪に難渋し、屋根の降雪作業等による人身事故が数多く発生し、死者13名、傷者29名、家屋の倒壊、浸水等503棟のほか果樹を中心とした農業、造林木、造山施設の林業、土木公共施設など合せて158億5,161万円という甚大な被害となった。
〃	〃	豪 雪	1月25日豪雪。市内交通マヒ、奥羽本線不通、国道7号線寸断。
〃	〃	〃	2月9日積雪新記録、秋田市で117cm。(過去30年間の最高記録) 2月12日太平中学校の体育館、倒壊。
〃	〃	〃	4月23日南通亀の町日活映画劇場1,053㎡焼失、死者1名。
1975	昭和50年	火 災	1月21日秋田市土崎南二丁目、東北製鋼株式会社工場より出火。
1976	昭和51年	〃	工場3,016㎡全焼。
〃	〃	〃	2月5日秋田市茨島一丁目、株式会社秋田林産製材工場1棟 2,180㎡全焼。 (10月29日酒田市大火)
〃	〃	(火 災)	2月25日秋田市泉字道田の住家から出火、住家1棟を全焼。この火事により家族3名が一酸化炭素中毒により死亡した。原因は電気こたつ。
1977	昭和52年	火 災	
〃	〃	連 続 放 火 (内 訳)	11月23日連続放火犯逮捕される。 4月10日 住家46㎡、作業場23㎡全焼。(明田) 6月22日 秋大サークル棟1,448㎡全焼。(手形) 7月9日 勝平神社27㎡。(新屋・砂奴寄) 8月31日 住家100㎡。(太平・八田) 9月30日 稻荷神社49.5㎡。(新藤田) 10月4日 原木400本。(新屋・砂奴寄) 10月5日 熊野神社83㎡。(泉) 11月8日 墓石鞆堂3.3㎡。(手形)

西 暦	年 号	種 別	記 事
1979	昭和54年	大 雨	6月18日から19日にかけてオホーツク海低気圧から南西にのびる前線の活動により、県中央部を中心に大雨となり、18日秋田市における日降水量は88.0mmとなり、秋田地方気象台観測以来第4位の記録となった。このため秋田市で住家の全壊1戸、床下浸水58戸のほか水稻、農業用設および土木関係等合わせて7億3,040万円余の被害が出た。
〃	〃	大 雨	6月26日から28日にかけて、北上した梅雨前線の活動と、日本海を北東進した低気圧の影響により全県的に大雨となり、大雨洪水警報が発表された。26日の降水量は県内各地とも50mm以上となり、秋田市立下新城小学校では浸水等のため、27日から29日の間、臨時休校となった。
〃	〃	大 雨	7月8日樺太から日本海北部にのびる寒冷前線と日本海に発生した低気圧により大気が不安定となり、大雨洪水警報が発表され、山沿い地方で大雨となった。
〃	〃	大 雨	7月23日梅雨前線が東北地方に停滞し、また、日本海低気圧が東進して活動したため、県中央部と北部で大雨となり、8日の日降水量は太平山で141mm、秋田市でも120mm以上を記録し、市の中心部を流れる太平川は増水し、警戒水位を超えた。このため、秋田市を中心に住家の床上浸水55棟、床下浸水672棟のほか、農業用施設、林業、土木関係等を合わせて3億7,267万円余りの被害が出た。
1983	昭和58年	地 震	5月26日午後0時頃、能代沖を震源とするM7.7の地震が発生し、秋田市で震度5を記録した。 沿岸部には津波が押し寄せた。死者3名、重軽傷53名、住家全壊35棟、半壊270棟、一部破損691棟のほか、公共施設等に大きな被害を与えた。(日本海中部地震)(災害救助法適用)
1984	昭和59年	雪 害	3月1日秋田駅前繁華街、緑屋デパートのアーケードが積雪の重みで倒壊する。下敷者1名救助。
1985	昭和60年	火 災 (放 火)	8月20日秋田市旭南三丁目、田原木材株式会社から出火、住家6棟、非住家9棟が被災し、1,824㎡を焼失した。この火災により9世帯20人がり災し、1億561万円余りの被害がでた。
〃	〃	大 雨	9月10日夜半から明方にかけて、総雨量が所により150mmを超えるおそれがあるため、大雨洪水警報を発令された。降雨量は、秋田市で117mmを記録。住家床上浸水139棟、床下浸水289棟、ほかに田畑等にも被害がおよんだ。

西 暦	年 号	種 別	記 事
1987	昭和62年	大 雨	<p>8月16日夜半から明方にかけて、降雨量が150mmを超えるおそれがあるため、大雨洪水警報が発令された。夜明け前から床上浸水等の被害が出始め、被害が甚大となってきたため、17日12時秋田市集中豪雨災害対策本部を設置した。住家床上浸水186棟、床下浸水402棟、他に農林業、土木関係等合わせて18億5,944万円余りの被害が出た。</p> <p>8月16・17日降り始めからの総雨量（ピーク時） 市街地 128mm（8月17日 4:00～5:00 52mm） 仁 別 166mm（8月16日 21:00～22:00 48mm）</p>
1988	昭和63年	火 災	<p>8月23日秋田市大町六丁目（横町商店街）から出火、密集した飲食店、店舗併用住宅等4棟全焼のほか3棟を一部焼損。焼失面積1,214㎡、損害7,407万円余り。</p>
1991	平成 3年	台 風	<p>9月28日早朝、台風19号は4時頃秋田市の西約240kmの海上を通過。27日夜半過ぎから南よりの強風が吹き始め、28日午前5時頃から8時前にかけて県内の所々で20m以上の強風が吹き荒れ、秋田市では、最大風速25.6m、28日5時59分最大瞬間風速51.4m（観測開始以来第1位の記録）を記録、秋の収穫前の果樹等農作物や農業畑地設に大きな被害をもたらした。</p> <p>また、台風の接近に伴い27日夜半過ぎから28日朝にかけてフェーン現象となり、秋田市での気温は31.5℃となった。</p> <p>秋田市の被害は、死者1名、重傷者4名、軽傷者5名、住家全壊1棟、半壊3棟、一部破損1,309棟、非住家全焼40棟、半壊21棟、一部破損1,351棟、農業関係約5億円、林産関係約5.8億円、被害総額約22億円。</p>
1993	平成 5年	火 災	<p>1月22日秋田市飯島鼠田三丁目の住家から出火し、住家1棟を全焼した。この火災により家族3名が一酸化炭素中毒等により死亡した。</p>
1994	平成 6年	火 災	<p>12月18日から19日にかけての未明、秋田市川元小川町、富士製粉産業株式会社から出火、作業場兼倉庫1棟を全焼。焼失面積1,078㎡、損害額2億3,725万円。</p>
1996	平成 8年	火 災	<p>12月22日秋田港内を航行中の油タンカー（第2金洋丸 2,998トン）が落雷により爆発炎上し、行方不明者1名が発生した。損害額は8,232万円。</p>
1998	平成10年	大 雨	<p>6月26日夜半から明け方にかけて、総雨量が所により150mmを超えるおそれがあるため大雨洪水警報が発令された。降雨量は、秋田市で188mmを記録。住家床上浸水4棟、床下浸水72棟、ほかに農林業、土木関係等合わせて2億5,441万円余りの被害がでた。</p>

西 曆	年 号	種 別	記 事
2001	平成13年	大 雨	<p>7月31日未明からの雨が昼頃にかけて強まり、総雨量が所により150mmを超えるおそれがあるため大雨洪水警報が発令された。住家床上浸水5棟、床下浸水19棟、ほかに農林業、土木関係等合わせて2億3,676万円余りの被害がでた。太平八田地区4世帯に避難勧告。</p> <p>降り始めからの総雨量（ピーク時）</p> <p>市街地 38mm（7月31日 4:00～5:00 12mm）</p> <p>仁 別 131mm（7月31日 9:00～10:00 48mm）</p>
2002	平成14年	薬 品 漏 出	6月28日午後6時過ぎ秋田製錬飯島製錬所より発煙硫酸が漏出。秋田市では午後8時50分秋田市災害警戒対策部を設置して対応。
〃	〃	大 雨	<p>8月11日未明から12日にかけて、東北北部に停滞する前線が活発となり、総雨量が所により150mmを超えるおそれがあるため大雨洪水警報が発令された。朝方から床上浸水等の被害が出始め被害が甚大となってきたため、12日午後7時30分秋田市災害警戒対策部を設置した。住家床上浸水62棟、床下浸水397棟、ほかに農林業、土木関係等合わせて3億894万円余りの被害がでた。広面地区、檜山地区約120世帯に避難勧告。</p>
〃	〃	火 災	<p>9月9日秋田市土崎港中央一丁目の寺院から出火し、同寺院を半焼したほか2棟を一部焼損した。</p> <p>焼失面積1,062㎡、損害額5,655万円。</p>
2003	平成15年	薬 品 漏 出	8月5日午後2時過ぎ日本メッキ(株)の塩酸タンクが破裂し、塩酸が漏出。秋田市では午後3時に秋田市災害警戒対策部を設置して対応。
2004	平成16年	タ ン ク 爆 発	6月8日午前11時過ぎ(株)ジェムコのフッ素入りタンク（直径95cm高さ100cm）が爆発し、1名死亡、3名負傷。有機フッ素化合物製造施設の配管から希水フッ素が漏れ、改修作業中に爆発したもの。同日午後2時23分に消防本部より安全宣言。
〃	〃	台 風	<p>8月19日夜半から20日にかけて、台風15号の接近と前線が東北地方に停滞したため、暴風・波浪警報、高潮警報が発表され、秋田市では最大風速23.2m、最大瞬間風速41.1mを記録。20日午後5時30分に秋田市災害警戒対策室を設置した。秋田市の被害は、軽傷者5名、住家一部破損89戸、非住家半壊以上10件、塀の倒壊7箇所、文教施設被害3箇所、病院施設被害1箇所、道路冠水2箇所、倒木等90箇所、電線スパーク18箇所、パイプハウス被害70棟、船舶被害2石、市内全戸のうち半数近くが停電した。</p>

西 暦	年 号	種 別	記 事
2004	平成16年	台 風	8月30日夜半から31日にかけて大型台風16号が接近し、接近とともに風雨が強まり、暴風・波浪警報、大雨・洪水警報が発表され、秋田市では最大風速21.3m、最大瞬間風速37.2mを記録。31日午前8時55分に秋田市災害警戒対策室を設置した。秋田市の被害は、軽傷者1名、住家一部破損16戸、塀の倒壊5箇所、文教施設被害8箇所、道路冠水7箇所、倒木等17箇所、電線スパーク6箇所、パイプハウス被害2棟、看板落下・破損10箇所、市内で約26,900戸が停電した。
〃	〃	台 風	台風18号が北上し、9月8日早朝にかけて秋田県沖を通過するため、暴風、波浪警報が発表され、秋田市では最大風速19.9m、最大瞬間風速33.8mを記録。7日午後11時00分に秋田市災害警戒対策室を設置した。秋田市の被害は、住家一部破損8戸、塀の倒壊2箇所、文教施設被害1箇所、倒木等5箇所、パイプハウス被害10棟。新屋地区で約2,260戸が停電した。
〃	〃	台 風	9月29日昼頃から雨が降り始め、30日にかけて台風21号の接近にともない風雨が強まり、大雨・洪水・暴風警報が発表され、秋田市では最大風速15.0m、最大瞬間風速28.0mを記録。秋田市の被害は、住家一部破損2棟、非住家一部破損1棟、道路冠水12箇所、土砂崩落1箇所、倒木等4箇所、看板落下・破損2箇所。
2005	平成17年	火 災	3月14日午後1時5分頃に日本大昭和板紙東北(株)敷地内で、カッタタイヤの貯蔵庫から出火、3月25日午後2時00分に鎮火するまで、カッタタイヤ約180トンが焼損、消防職員延べ1,221名、消防車両延べ342台が出動した。
〃	〃	雪 害	平成18年豪雪12月上旬から1月上旬にかけて日本各地で低温となり、日本海側を中心に暴風を伴った大雪となった。秋田市では交通網の麻痺や除排雪に難渋し、降雪作業等による人身事故が数多く発生し、死亡5名、重軽傷55名、家屋等の損壊、倒木、農産関係被害等の被害は甚大であった。市職員による独居老人雪寄せ等 (延べ1,409人) 平成17年12月24日 秋田市雪害対策本部設置(10:00) 平成18年1月5日 秋田市災害対策本部設置(9:30) 1月9～11日 自衛隊災害派遣(除雪数111件) 1月31日 秋田市災害対策本部廃止(12:00) 秋田市雪害警戒対策部に切り替え 2月28日 秋田市雪害警戒対策部廃止(12:00)

西 暦	年 号	種 別	記 事
2006	平成18年	大 雨	7月2日朝方から断続的に強い雨が降り、総雨量が所により150mmを超えるおそれがあるため大雨洪水警報が発表された。3日朝方から床下浸水等の被害が発生したことから、3日午前11時秋田市災害警戒対策室を設置した。住家床上浸水1棟、床下浸水38棟、道路冠水38箇所、水田埋没・冠水357.4ha、畑冠水42haの被害が出た。仁別では3日の降水量が観測開始以来最大の216mmを記録した。
2006	平成18年	火 災	5月19日秋田市仁井田地内の住家から出火、住家1棟を全焼、家族4名が死亡した。また、11月28日秋田市雄和椿川地内の住家から出火した火災では家族2名が死亡した。秋田市における火災発生件数は過去最少の79件であったが、火災による死者数は過去最多の11人を記録した。
2007	平成19年	大 雨	9月17日未明、台風11号から変わった温帯低気圧から、暖かく湿った空気が東北北部に停滞する前線に流れ込み、広い範囲で大雨となり午前4時30分大雨洪水警報が発表された。朝方から床下浸水等の被害が発生したことから、午前7時50分秋田市災害警戒対策室を設置した。さらに、床上浸水、崖崩れ等被害が甚大となってきたため、午後4時10分秋田市災害警戒対策部に切り替えた。17日は秋田市で月最大24時間降水量135.5mmを観測し全年を通じて1位（統計開始：1971年）住家床上浸水21棟、床下浸水132棟、道路冠水78箇所、土砂崩れ26箇所、ほかに、農林業、土木関係等合わせて2億1500万円余りの被害が出た。下新城地区、雄和女米木地区約300世帯に避難勧告。
〃	〃	火 災	12月22日秋田市八橋地内の住宅から出火、住家1棟を全焼、住居者4名が死亡した。
2009	平成21年	飛 翔 体	3月12日国際海事機関（IMO）から、日本を含むIMO加盟国に対し、北朝鮮当局からIMOに対する「試験通信衛星」の打ち上げのための事前通知があった旨の連絡があった。北朝鮮は、4月4日から8日までの毎日11時から16時まで（日本時間）、日本海（秋田県沖）および太平洋の一部に危険区域を設定した。平成21年3月16日 秋田市飛翔体情報連絡室設置（9：00）平成21年3月31日 秋田市警戒対策部設置（15：30）
〃	〃	大 雨	7月9日から降り続いた大雨により新城川が増水したことから、10日午前6時20分秋田市災害警戒対策部を設置した。下新城地区165世帯に避難勧告を発令した。

西 暦	年 号	種 別	記 事
2009	平成21年	大 雨	7月18日朝から降り続いた大雨により市内各河川が増水し、18日午後8時55分秋田市災害警戒対策部を設置した。この大雨により、住家床上浸水4棟、床下浸水32棟、道路冠水21か所等の被害が発生した。下新城地区165世帯、金足片田字待入・深田地区62世帯に避難勧告を発令した。
〃	〃	台 風	大型の台風18号が強い勢力を維持しながら10月8日深夜から9日朝にかけて秋田県に最も接近するため、暴風・波浪警報が発表され、秋田市では8日午前10時30分秋田市災害警戒対策部を設置した。この台風により、市内の小中学校は一斉休校、美術短大附属高等学院と御所野学院高校は一校時終了後下校、商業高校は三校時終了後下校の対応をとった。
〃	〃	大 雨	11月4日夜から降り続いた大雨により、秋田市では5日午前10時30分秋田市災害警戒対策部を設置した。秋田市全域に土砂災害警戒情報が発表され、住家床上浸水1棟、床下浸水3棟、道路冠水13か所、道路法面崩れ2か所、土砂崩れ3か所の被害が発生した。太平地区の目長崎・中関・黒沢・寺庭の一部、下北手地区の寒川・宝川・通沢の一部、上北手大山田の一部、河辺地区の北野田高屋・和田・高岡・諸井の一部298世帯に避難勧告を発令した。
2010	平成22年	大 雨	7月29日から降り続いた雨により7月30日、午後12時40分に気象庁が秋田市河辺雄和地域に土砂災害警戒情報を発表。同時刻に秋田市災害警戒対策部を設置した。更に13時20分に秋田市全域に土砂災害警戒情報を発表した。 この大雨により床下浸水3棟、道路被害22箇所、土砂崩れ4箇所等の被害が発生した。
〃	〃	大 雨	8月14日から15日にかけて秋田市全域に大雨が発生。8月14日、14時に秋田市災害警戒対策部を設置。同日、15時25分に下新城5地区169世帯に対し、避難勧告を発令したほか、20時30分に雄和碓田地区47世帯に対し避難勧告を発令した。この大雨により床上浸水6棟、床下浸水56棟、道路被害92箇所、土砂崩れ49箇所、農業用施設99箇所等の被害が発生した。

西 曆	年 号	種 別	記 事
2011	平成23年	大 雨	6月23日から24日にかけての大雨により、6月24日5時30分に秋田市災害警戒対策部を設置。同日5時40分下新城地区164世帯に避難勧告を発令した。また、7時36分気象庁が河辺・雄和地域の全域に土砂災害警戒情報を発表。同日7時40分雄和碓田地区46世帯に避難勧告を発令したほか、17時30分下浜檜田上野地区33世帯、雄和地区女米木、下黒瀬、平沢の一部、石田、妙法の全部324世帯にも避難勧告を発令した。この大雨により床上浸水2棟、床下浸水13棟、土砂崩れ15箇所、農業用施設11箇所等の被害が出た。
2012	平成24年	暴 風	4月3日、低気圧が急速に発達しながら日本海を進み、4日未明には東北地方北部を通過した。秋田市では3日から4日にかけて暴風が続き、けが人5人(重傷2人、軽傷3人)、屋根剥離等の住家一部損壊402件、半壊以上の非住家32件、道路への倒木等70ヶ所、ビニールハウス倒壊など農業関係で約2億1,200万円余りの被害がでたほか、市内各所で最大35,491戸が停電した。また避難所1ヶ所を開設し最大4世帯4人が避難した。
2012	平成24年	火 災	飯島地区において放火の疑いのある火災が連続して発生した。 5月28日農業用機械を覆っていた樹脂製シートを焼損 6月1日工作物内に置かれた農業用機械を焼損 6月9日農業資材を収納した納屋を焼損(4㎡)
2012	平成24年	火 災	8月2日東北電力(株)秋田火力発電所の3号機ボイラー建屋から出火、ボイラー等を焼損した。被害額35,121千円
2012	平成24年	ガ ス 中 毒	7月10日午後4時半頃、秋田市総合環境センター内で溶融炉を点検作業中に一酸化炭素が発生し、作業員9人が中毒症状を発症し、救急車で搬送された。これに伴い17時40分、秋田市危機管理現地対策本部が設置された。
2013	平成25年	火 災	3月16日19時15分頃、秋田市向浜一丁目の県有雑種地に上架された船舶37艘のうち17艘が焼損した火災が発生した。被害額は8,532千円
2013	平成25年	竜 巻	11月7日午後5時頃、泉地区で竜巻が発生し、住家16箇所、非住家1箇所、事業所3箇所、工作物2箇所に物的被害が生じた。 平成25年度は災害対策部、本部設置なし 平成26年度は災害対策部、本部設置なし

西 暦	年 号	種 別	記 事
2015	平成27年	火 災	1月13日17時30分覚知、秋田市向浜二丁目秋田船川港秋田区向浜岸壁に停泊していた、カンボジア王国船籍貨物船（総重量4,999 t）船そう内の積荷2,800梱包のうち、過半を超える単板が焼損した火災が発生した。 1月22日17時00分鎮火被害総額104,297千円
2015	平成27年	火 災	5月23日19時07分覚知、秋田市外旭川字中谷地32番地1 MQリゾート外旭川店で火災が発生した。同日22時30分鎮火被害総額253,525千円
2016	平成28年	火 災	4月6日18時33分覚知、秋田市向浜一丁目の秋田プライウッド株式会社から出火、建物等を焼損した。 4月8日7時40分鎮火被害総額1,328,799千円
2016	平成28年	竜 巻	10月31日午後0時30分頃、八橋、泉中央地区および向浜地区において竜巻による被害が発生した。車両破損7台、建物被害は11棟、秋田市は災害警戒対策室を設置した。
2016	平成28年	竜 巻	11月8日13時30分頃、金足地区において竜巻による被害が発生した。建物被害は10棟、秋田市は災害警戒対策室を設置した。
2017	平成29年	大 雨	7月22日から23日にかけて降り続いた記録的な大雨を受け、22日15時25分に秋田市災害警戒対策部が設置された。 秋田市には土砂災害警戒情報が発表され、床上浸水154棟、床下浸水357棟、道路冠水128箇所、土砂崩れ213箇所の被害が発生し、農林関係の被害は20億円以上となった。 市長は下浜、浜田地区全域、豊岩地区の一部、雄和地区全域、河辺地区の一部、下新城地区の一部、大住、仁井田、牛島地区の一部、太平地区の一部、柳田地区全域、広面、檜山地区の一部合計17,412世帯39,304人に対して、避難勧告を発令した。
2018	平成30年	大 雨	5月18日の大雨を受け、18日16時30分に秋田市災害警戒対策部が設置された。秋田市には土砂災害警戒情報が発表され、床上浸水146棟、床下浸水232棟、道路冠水81箇所、土砂崩れ50箇所の被害が発生し、農林関係の被害は9億円以上となった。 市長は河辺地区および雄和地区の6,372世帯(14,883人)に避難準備・高齢者等避難開始を発令するとともに、下新城地区の一部、太平地区の一部、広面地区の一部、柳田地区、金足地区の一部、仁井田地区の一部、御野場地区の一部、大住地区の一部、牛島地区の一部、檜山地区の一部、横森地区の一部合計13,082世帯(28,941人)に対して、避難勧告を発令した。